



明るく快適な通行帯提供を

三井住建道路

三井住建道路の松井隆幸社長は6日、徳島市で施工中の「平成28年度庄町地区電線共同溝工事」（四国地方整備局徳島河川国道事務所発注）の現場を訪れ、夜間安全パトロールを行った。

職員らに訓示した松井社長は「地元商店や近隣住民とのコミュニケーションを大事にするとともに、歩行者や自転車、一般車両といった道路利用者に明るく快適な通行帯を提供することで、初めて作業に取り掛かることができる」ということを忘れないでほしい」と第三者灾害防止への注意を促した。

II写真中央。全国安全週間の取り組みの一環で、工事の進ちょく状況や安全管理活動の取り組み状況などを確認した。

2017年7月13日付 建設工業新聞(3面)



松井社長が夜間安全パトロール

三井住建道路の松井隆幸社長は6日、徳島市の庄町1丁目から4丁目地先にかけて施工中の電線共同溝工事現場を対象に夜間安全パトロールを実施したII写真。全国安全週間の取り組みの一環として、当日工事の進捗状況確認と安全管理活動を視察した。

松井社長は訓示の中で、「この工事では、電線共同街渠・歩道部を交通規制して作業を行う。地元商店・近隣住民とのコミュニケーションも大事だが、皆が最も注意しなければならないのは、歩行者や自転車で走行する人々、一般車両となる。それを明るく快適な通行帯を提供して初めて作業にとりかかる事が出来る」ということを忘れないでほしい」と第三者灾害防止について注意を

促した。

また、パトロールに同行した成田信一安全環境部長は「誘導員は、目立つ位置に立ち、大きな看板を立てる」と。夜間作業者は蒸し暑い日中に睡眠を取ることになる。職長は、作業員の体調を作業前に確認しよつ」と呼びかけた。

2017年7月13日付 建設産業新聞(2面)

三井住建道路
松井社長

第三者災害に注意

三井住建道路の松井隆幸社長は6日、徳島市で施工している電線共同溝工事現場で夜間安全パトロールを実施した。全国安全週間の取り組みの一環で、工事の進捗と安全衛生管理活動を確認した。

松井社長は訓示で、「地元商店や近隣住民とのコミュニケーションも大事だが、最も注意しなければならないのは歩行者であり、自転車で走行する方々であり、一般車両である。明るく快適な通行帯を提供して初めて作業に取りかかることができる」ことを忘れないでほしい」と第三者災害防止の基本について注意を促した。

パトロールに同行した成田信一同社安全環境部長は朝礼で、「誘導員は目立つ位置に立ち大きな合図をしてほしい。夜間作業の方々は蒸し暑い日中に睡眠をとることになる。

職長は作業者の体調を作業前に確認してほしい」と呼び掛けた。若宮靖 中四国支店長は「歩行者や自転車で通行する方が快適に通行できる明るい空間を提供し、騒音振動

など著しい環境側面に配慮してほしい。20日には完工予定だが、最後まで気を抜かずには無事故・無災害で完成させよう」と社員に訓示した。



パトロールする松井社長(右)